

基本政策 1 夢に向かってにチャレンジできる

【基本政策の方向性】

子どもや若者が社会生活を円滑に営むことができ、夢や目標に向かってチャレンジできる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「子ども・若者が問題に直面した時に、サポートが受けられる」

子どもや若者が、学校生活や学業、就労などの不安や悩みを抱え込んでしまわないよう、サポートが受けられることを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
サポート（関り）を持った子ども・若者数	— ⇒	延べ8人/年（R7）

基本施策

1-1 社会生活を円滑に営むための支援

就労体験などの社会参加の機会の提供や、居場所・仲間づくりのための活動等の支援など、社会生活を円滑に営むための支援を充実します。

【KPI】	現状値	目標値
子ども・若者の居場所活動回数	延べ490回/年（R1） ⇒	延べ624回/年（R7）

【主な取組】 子ども・若者の居場所・仲間づくり

身近に利用できる子ども食堂や若者の居場所活動などに取り組む団体を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
子どもの居場所数（子ども食堂、学習支援教室、プレイパーク、若者支援の居場所数の合計）	16ヶ所（R2） ⇒	22ヶ所（R7）

1-2 相談・支援体制の充実

子ども・若者の不安や悩みなどをサポートするため、若者のための学び直し相談や支援のためのネットワーク強化など相談・支援体制の充実を図ります。

【KPI】	現状値	目標値
若者のための学び直し相談件数	4 件/年 (R1)	⇒ 12 件/年 (R7)

【主な取組】 支援体制の充実

民間団体や地域団体との支援のためのネットワークの推進や、子ども未来応援基金¹の PR 活動などに取り組めます。

【KSF】	現状値	目標値
若者支援を希望するサポーターの登録件数	延べ 42 件 (R2)	⇒ 延べ 92 件 (R7)

関連する SDG s ゴール



生活困難な子ども・若者に気づき、適切な支援へ繋げ、貧困の連鎖を断ち切るための取り組みを推進します。 関連ターゲット (1-2)



すべての子ども・若者が、自らの希望に応じて学習の機会を平等に得られるための支援を行います。 関連ターゲット (4-6、4-7)

関連計画等

富士見市子どもの貧困対策整備計画 (平成 29 年度～令和 3 年度)

関連部署

子ども未来部 子ども未来応援センター、保育課
健康福祉部 福祉課
教育委員会 生涯学習課

¹ 子ども・若者が地域で安心して過ごすことのできる居場所づくり事業を、応援するための基金